

〔著者紹介〕

森 和 美・もり かずみ

〔略歴〕

昭和二十八年

NHK福島放送劇団に入団。連続ドラマに出演、老け役で活躍。特に昭和三十八年、「NHK全国ドラマコンクール」に主役で出演、全国最優秀賞団体受賞。

昭和三十三年  
昭和三十九年  
昭和四十九年

福島テレビ(株)に入社、かたわら声優として活躍。ラジオ福島「CM「クレラップ」でACC 全国CMフェスティバル全国優秀賞を受賞する他、民間放送番組コンクールで出演、数回全国優秀賞を受賞。

昭和五十四年

十月「ラジオ福島の番組「福島の昔話」(平成十年七月から「おばあちゃんの昔話」)に出演。平成十年十二月までで通算五千八百九十五回を超え、長寿人気番組として好評続行中。

平成三年  
平成四年一月  
平成五年一月

福島テレビ(株)を退社し、ラジオ福島専属となる。福島テレビ正月特別番組の「昔話」に、藤城清治氏の切絵映像による語り手として出演。二本松市ふるさと村「安達が原鬼婆伝承館」に、声の出演をする。

平成六年一月末

ラジオ福島発行の『福島のむかし話』一卷カセットテープに出演する。

平成六年四月

ラジオ福島発行の『福島のむかし話』二巻カセットテープに出演する。

平成八年四月

ラジオ福島発行の『福島のむかし話』三巻カセットテープに出演する。

平成八年七月

日本民間放送連盟(東北・北海道地区)番組コンクール放送活動部門「福島のむかし話」放送十七年」で、優秀賞受賞。

他、現在テレビ・ラジオ番組、CM、講演等で活躍中。

どんな歌であれ、すべてが「母の子守歌」となり得るのだ。

へねんねんころりよおころりよ 坊やはよい子だねんね

しな 坊やのお守りはどこへ行った あ の山越えて里

へ行った――

ご存じ、右の歌は「全国子守歌」または「江戸子守歌」

とも言われ、江戸時代から歌われて全国に普及し、誰もが親しんできた。

また日本全国には、即興詩的に歌われ、自然発生的に生まれた、作者不詳の子守歌がたくさんあって、その質・量ともに世界一と言われている。

一時流行した、熊本県の「五木の子守歌」は、その哀調を帯びた旋律が、外国の著名な作曲家たちをも魅了したと言う話は、つとに知られている。

「坊やはよい子だ」「中国地方の子守歌」「五木の子守歌」

これら全国に波及したものには、人々の心を引き付けてやまない、魅力あふれる内容であったに違いない。

ついでながら、先人が残してくれた「わらべ歌」など、素晴らしい財産もあるのだ。

独断と偏見をかえりみず言わせてもらえるならば、現在の教育現場において、これらの財産を補助教材と言う形でも積極的に採用し、情操教育の一環として、大いに活用する智慧があつてほしいもの。子供たちは案外、新しい発見をしてくれるかも知れない。

二十一世紀は『心の世紀』と世界中がうたっているのだから。

提 言